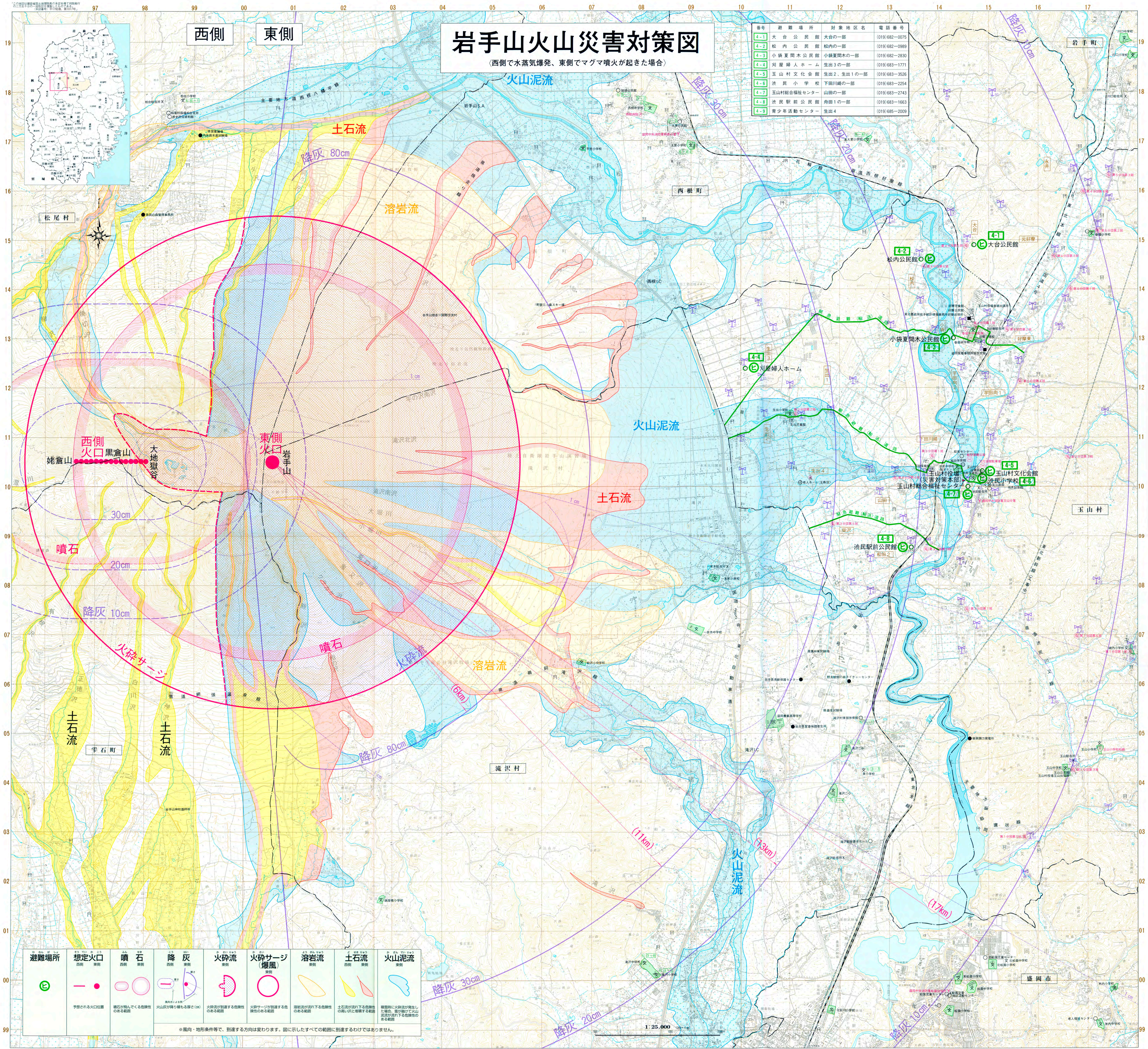
岩手山火山災害対策図

〈西側で水蒸気爆発、東側でマグマ噴火が起きた場合〉



番号	避難場所	対象地区名	電話番号
4-1	大台公民館	大台の一部	(019)682−0075
4-2	松内公民館	松内の一部	(019)682−0989
4-3	小袋夏間木公民館	小袋夏間木の一部	(019)682−2830
4-4	刈屋婦人ホーム	生出３の一部	(019)683−1771
4-5	玉山村文化会館	生出２、生出１の一部	(019)683−3526
4-6	渋民小学校	下田川崎の一部	(019)683−2254
4-7	玉山村総合福祉センター	山田の一部	(019)683−2743
4-8	渋民駅前公民館	舟田１の一部	(019)683−1663
4-9	青少年活動センター	生出４	(019)685−2009

避難場所	想定火口 西側 東側	噴石 西側 東側	降灰 西側 東側	火砕流 東側	火砕サージ(爆風) 東側	溶岩流 東側	土石流 西側 東側	火山泥流 東側
Ⓔ	予想される火口位置	噴石が飛んでくる危険性のある範囲	火山灰が降り積もる厚さ(cm) 厚さ 風向きによる例	火砕流が到達する危険性のある範囲	火砕サージが到達する危険性のある範囲	溶岩流が流れ下る危険性のある範囲	土石流が流れ下る危険性の高い沢と堆積する範囲	積雪時に火砕流が発生した場合、雪が融けて火山泥流が流れ下る危険性のある範囲

※風向・地形条件等で、到達する方向は変わります。図に示したすべての範囲に到達するわけではありません。

注１）想定被災範囲のラインは危険性が大きい区域をおおまかに示したものです。

注２）風向・地形条件等で、到達する方向は変わります。図に示したすべての範囲に到達するわけではありません。

注３）火山泥流等の発生時に万が一避難場所まで辿り着けない場合は、すみやかに高い位置へ避難して下さい。

避難の心得

避難に際しては日頃からの準備が大切です。火山活動が活発化したときは、正しい情報を得て準備を再確認してください。

●「日　常」

① 日頃から盛岡地方気象台の火山情報や、報道機関の防災情報に関心を持ちましょう。
② 避難場所・避難路の確認をしておきましょう。
③ 家族や近所で避難の仕方を話し合っておきましょう。
④ 防災訓練に参加しましょう。
⑤ 非常用品をリュックに入れて準備しておきましょう。

非常用品チェックリスト

□ヘルメット(頭巾)
□ゴーグル
□マスク
□手袋
□懐中電灯
□ラジオ
□常備薬
□カッパ・傘
□防寒具
□替えの下着
□タオル
□ちり紙
□非常食
□飲料水
□貴重品・現金
□＿＿＿＿

●「避 難 時」

① 市町村長から避難勧告または避難指示が発せられた場合には、速やかに避難しましょう。
② 市町村、警察、消防等の正しい情報をつかみ、デマ・うわさに惑わされないようにしましょう。
③ 緊急時は避難を最優先にしましょう。
④ あわてずに落ち着いて行動しましょう。

●「安否情報」

避難後の安否の確認には、

NTTの「災害用伝言ダイヤル」171番

を利用しましょう。

気象庁発表の火山情報

火山活動が活発になると、盛岡地方気象台から、下の火山情報が発表になります。落ち着いて、情報を理解し、避難の準備等に役立ててください。

火山情報の種類	解説
緊急火山情報	生命、身体にかかわる火山活動が発生した場合に随時発表します。
臨時火山情報	火山活動に異常が発生し、注意が必要なときに随時発表します。
火山観測情報	火山活動の状況を定期的または臨時にきめ細かく発表します。

◀ 火山災害対策図の問い合わせ先 ▶

玉山村役場　住民生活課　TEL 019−683−2111

平成12年3月作成

岩手山火山災害対策図

（玉　山　村）

この対策図は、平成10年10月に作成された「岩手山火山防災マップ」及び「火山防災ハンドブック」をもとに作成したものです。

今後、岩手山で想定される噴火について多くの方に知っていただき、一般家庭や観光施設をはじめ関係機関での防災対策に役立てていただくことを目的としています。

岩手山火山防災マップ作成の前提条件

このマップの想定は、次のような前提条件のもとに行っています。

① 過去の噴火の仕方や火山観測状況から、噴火の可能性が高いと推定される西側の水蒸気爆発と、東側のマグマ噴火を想定しています。

② 西側の水蒸気爆発は、過去約7,400年のうちで最も大きかったと推定される、約3,200年前の水蒸気爆発と同程度の規模を想定しています。火口の位置は噴気活動が見られる大地獄谷から姥倉山付近までの、東西約1.5kmの範囲を想定しています。

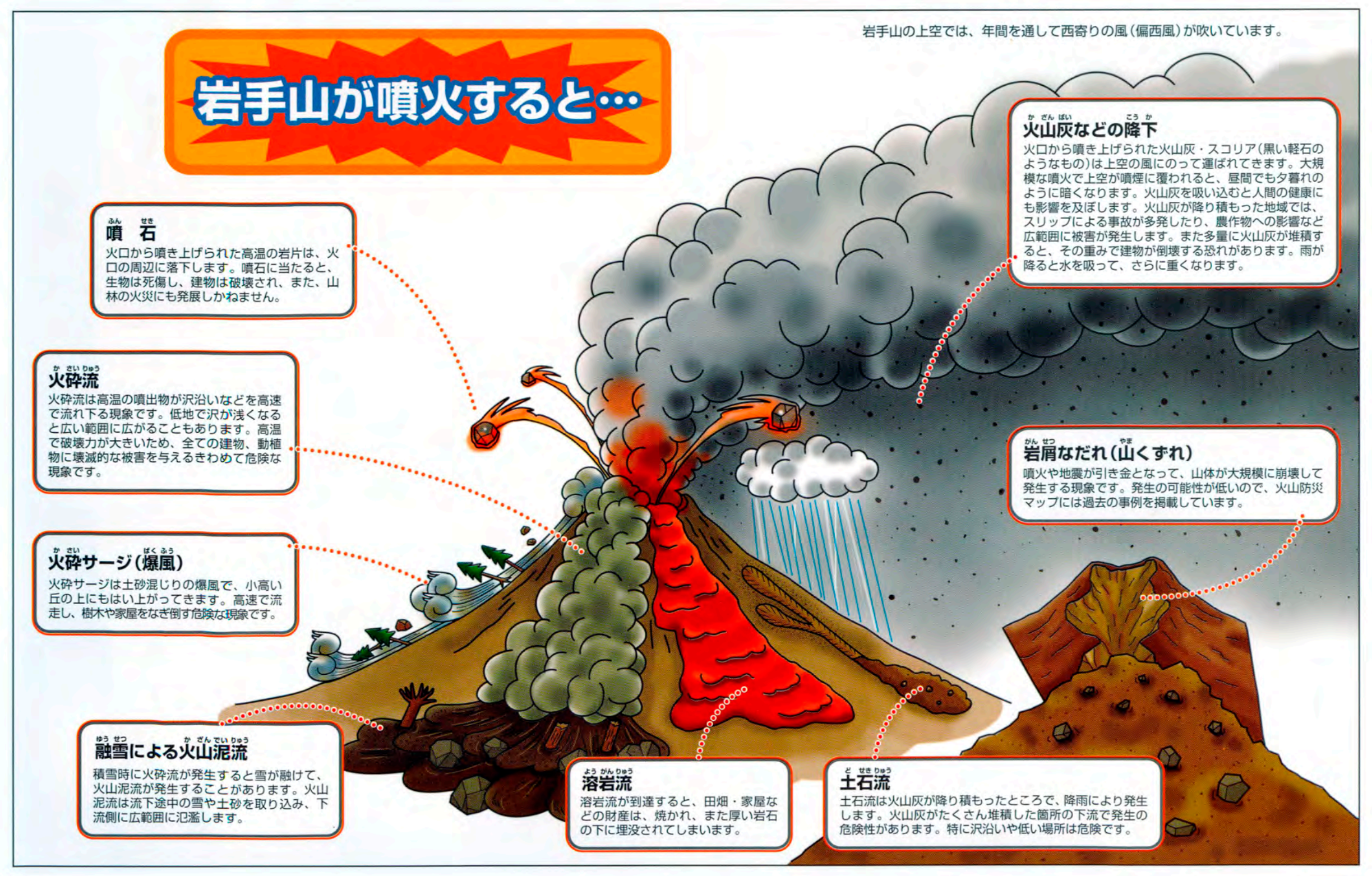
③ 東側のマグマ噴火は、過去約6,000年の噴火のうちで最大級の一つと推定される1686年の噴火と同程度の規模を想定しています。火口の位置は、岩手山山頂火口を想定しています。

このとき発生が想定される現象は、噴石、火砕流、火砕サージ、火山灰などの降下、溶岩流、土石流および融雪による火山泥流です。火山灰などの降下と溶岩流は、1686年噴火と同じ量のマグマがそれぞれ１回の噴火で全部噴出したと想定して到達範囲を求めています。また、火砕流、土石流、融雪による火山泥流は火山灰などの量に応じて、噴石と火砕サージは過去の実績から到達範囲を求めています。

④ 火山灰や溶岩流などの現象は風向きや火口の地形によって、いろいろな方向におよぶ可能性がありますので、可能性のある全ての方向についての到達範囲を示しています。

ただし、火山噴火を正確に予測することは困難です。実際の噴火ではこの図と異なる場合もありますので、噴火の状況に即した対応が必要となります。

岩手山が噴火すると…



岩手山の上空では、年間を通して西寄りの風（偏西風）が吹いています。

噴石

火口から噴き上げられた高温の岩片は、火口の周辺に落下します。噴石に当たると、生物は死傷し、建物は破壊され、また、山林の火災にも発展しかねません。

火砕流

火砕流は高温の噴出物が沢沿いなどを高速で流れ下る現象です。低地で沢が浅くなると広い範囲に広がることもあります。高温で破壊力が大きいため、全ての建物、動植物に壊滅的な被害を与えるきわめて危険な現象です。

火砕サージ（爆風）

火砕サージは土砂混じりの爆風で、小高い丘の上にもはい上がってきます。高速で流走し、樹木や家屋をなぎ倒す危険な現象です。

融雪による火山泥流

積雪時に火砕流が発生すると雪が融けて、火山泥流が発生することがあります。火山泥流は流下途中の雪や土砂を取り込み、下流側に広範囲に氾濫します。

溶岩流

溶岩流が到達すると、田畑・家屋などの財産は、焼かれ、また厚い岩石の下に埋没されてしまいます。

土石流

土石流は火山灰が降り積もったところで、降雨により発生します。火山灰がたくさん堆積した箇所の下流で発生の危険性があります。特に沢沿いや低い場所は危険です。

火山灰などの降下

火口から噴き上げられた火山灰・スコリア（黒い軽石のようなもの）は上空の風にのって運ばれてきます。大規模な噴火で上空が噴煙に覆われると、昼間でも夕暮れのように暗くなります。火山灰を吸い込むと人間の健康にも影響を及ぼします。火山灰が降り積もった地域では、スリップによる事故が多発したり、農作物への影響など広範囲に被害が発生します。また多量に火山灰が堆積すると、その重みで建物が倒壊する恐れがあります。雨が降ると水を吸って、さらに重くなります。

岩屑なだれ（山くずれ）

噴火や地震が引き金となって、山体が大規模に崩壊して発生する現象です。発生の可能性が低いので、火山防災マップには過去の事例を掲載しています。

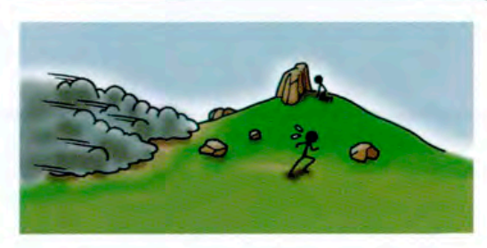
噴火が起きたら、起きそうになったら

VOLCANO Mt IWATE

噴石

噴石の多くは火口から数km程度以内に落下するため、火口から十分に離れた箇所では安全です。岩手山に近づかないようにしましょう。

火砕流・火砕サージ



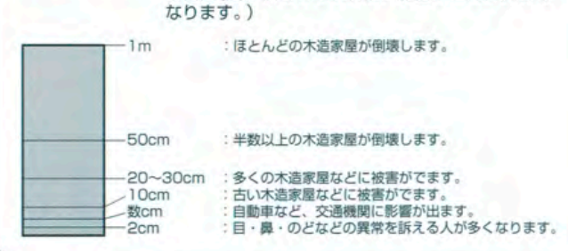
火砕流・火砕サージは高速（時速100km以上）で流れ下るため、発生してからの避難はほとんど困難です。噴火の危険性が高い状況になったら、火山情報などに十分注意し、速やかに到達範囲の外に避難してください。万が一、避難が遅れた場合は、少しでも高台の物陰に隠れてください。

溶岩流

溶岩流は一般に速度が遅く、徒歩でも逃げることが可能です。落ち着いて、到達範囲の外に避難してください。

火山灰などの降下

火山灰がたくさん積もった場合には、家屋がつぶれないよう、屋根の上の火山灰を除去してください。



降灰による災害：降り積もった火山灰・スコリアなどの厚さと被害の目安（雪が積もっていれば、影響がさらに大きくなります。）

1m：ほとんどの木造家屋が倒壊します。
50cm：半数以上の木造家屋が倒壊します。
20〜30cm：多くの木造家屋などに被害がでます。
10cm：古い木造家屋などに被害がでます。
数cm：自動車など、交通機関に影響が出ます。
2cm：目・鼻・のどなどの異常を訴える人が多くなります。

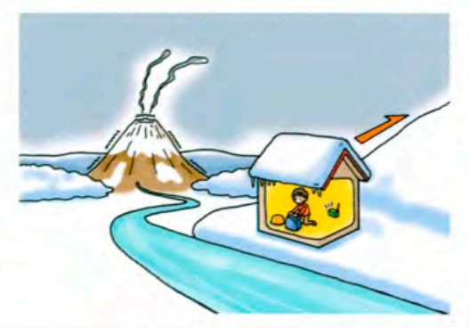
少量でも、火山灰が降り出したら、タオルやマスクなどで吸い込まないようにしましょう。また、帽子を着用しましょう。昼間でも急に暗くなることがありますが、火山灰で死傷することはありません。冷静に行動してください。

土石流

土石流は雨により発生し、高速（時速50km程度）で流れるため、噴火後、台風の接近など、あらかじめ大雨が想定される場合には、土石流の到達範囲から避難してください。万が一、避難が遅れた場合には、沢から離れた少しでも高いところに避難してください。

融雪による火山泥流

融雪による火山泥流は高速（時速60km程度）で流れるため、速やかな避難が必要です。噴火の危険性が高い状況になったら、火山情報などに十分注意し、できるだけ早く到達範囲の外に避難してください。万が一、避難が遅れた場合には、少しでも高いところに逃げてください。



凡	例
━	緊急避難（輸送）道路
⛩ 卍	神社・寺院
■	国の施設
●	県の施設
○	町の施設
⚑	災害対策本部
X	交番・駐在所
Ⓔ	避難場所
Ⓔ	近隣市町村避難所
Y	消防機関
㊅	屯所
✚	病院・医療機関
Ⓗ	防災ヘリポート
Ϋ	防災行政用無線塔
㊫	学校（高校）
文	学校（小・中学校）
㊜	保育園・保育所
㊗	児童館
―	メッシュ（１km区画）
━・━	行政界
━ ━	鉄道

村・県・国の防災関係機関	住所	電話番号
玉山村役場	玉山村大字渋民字泉田77-1	(019)683−2111
玉山村文化会館(中央公民館)	玉山村大字渋民字鶴塚55	(019)683−3526
玉山村総合体育館	玉山村大字川崎字川崎1-1	(019)683−1636
玉山村総合福祉センター	玉山村大字渋民字泉田77-1	(019)683−2743
岩手県総務部消防防災課	盛岡市内丸10-1	(019)629−5165〜6
岩手県防災航空センター	花巻市葛第３地割183-1	(0198)26−5251
盛岡地方振興局総務部	盛岡市内丸11-1	(019)629−6507
盛岡地方振興局土木部道路維持課	盛岡市内丸11-1	(019)629−6644
盛岡保健所	盛岡市内丸11-1	(019)629−6590
建設省東北地方建設局 岩手工事事務所(洪水予報課)	盛岡市上田四丁目2-2	(019)624−3131
建設省北上川ダム統合管理事務所	盛岡市下厨川四十四田1	(019)643−7971
東北運輸局岩手陸運支局	矢巾町流通センター南二丁目8-5	(019)638−2154
陸上自衛隊岩手駐屯地部隊	滝沢村滝沢字後268-433	(019)688−4311
盛岡森林管理署	盛岡市大沢川原一丁目2-42	(019)651−5555
盛岡地方気象台(防災業務課)	盛岡市三王4-30	(019)622−7870
警察・消防機関	**住所**	**電話番号**
盛岡東警察署	盛岡市住吉町1-48(仮庁舎)	(019)606−0110
盛岡東警察署渋民駐在所	玉山村大字渋民字駅73-3	(019)683−2151
盛岡東警察署好摩駐在所	玉山村大字好摩字夏間木130	(019)682−0110
盛岡東警察署玉山駐在所	玉山村大字日戸字鷹高20-20	(019)685−2004
盛岡中央消防署	盛岡市内丸3-40	(019)622−2175
盛岡中央消防署玉山分署	玉山村大字渋民字渋民46	(019)683−2050
病院・医療機関	**住所**	**電話番号**
渋民中央病院	玉山村大字渋民字大前田53-2	(019)683−2336
玉山岡本病院	玉山村大字下田字石羽根99-291	(019)683−2121
八角病院	玉山村大字好摩夏間木70-190	(019)682−0201
八角医院	玉山村大字好摩字夏間木101-2	(019)682−0007
秋濱内科小児科医院	玉山村大字渋民字渋民48	(019)683−2051
成島整形外科医院	玉山村大字好摩字上山14-66	(019)682−0001

北海道地図株式会社盛岡支店
電話 (019)652−3101